

めざす学校像
地域と共に
子どもの夢と可能性を育む 並柳小学校

めざす教師像
子どもに寄り添い
笑顔で共に学び合う教師

[めざす子ども像]
学びの楽しさや意義を知り、自ら学び続ける子ども
「学ぶって楽しいね」
自分のよさを知り、自分も相手も大切にできる子ども
「わたしていいね あなたっていいね」

松本市が大切にしている
学びのあり方

- 多様性：一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び
- 創造性：未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び
- 主体性：自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び

子どもの姿

- ・人なつっこく親しみやすい
- ・任された仕事に張り切って取り組む
- ・主体的な学習では生き活きと活動できる
- ・自分のよさを感じ、自信をもって工夫し学習していくことが難しい

保護者の願い

- ・安心して登校できること
- ・子どもが意欲的に学習できるように、家庭と学校の情報共有と、信頼関係の構築を図りたい
- ・行事や授業参観など、子どもの様子が見られる機会をつくってほしい

地域の方々の声（並柳コミュニティースクールから）

- ・あいさつが元気にできる子ども達、元気に遊ぶ子ども達であってほしい
- ・地域との関わりをもち、人とのつながりを大切にしてほしい。
- ・学校教育と並柳コミュニティースクール事業の連携を深めていきたい

共に学び合う

教育活動の重点

楽しい授業の構築

- ・「主体的で対話的な深い学び」を視点とした授業改善
- ・問いのある授業、ふりかえりの重視
- ・授業交換の試み、高学年の教科担任制、自由進度学習の実施
- ・重点研究 一人一公開授業や職員研修の充実
～子どもの意欲を重点に共に学ぶ教師集団～
- ・ICT 機器の活用
- ・学期毎の授業評価
～目標：授業が楽しい80%以上～

特別支援教育の考えを中心に据えた学校づくり

- ・子どもの姿を語り合う機会の充実
- ・子どもを知り、支え伸ばしていくための職員研修の充実
- ・すべての子どもが学びやすい学習環境、生活環境作り
- ・確かな児童理解とチーム支援
(外部との連携)
- ・ユニバーサルデザインの充実と共に学び合う教師集団
- ・インクルーシブ教育への共通理解

認め合える場づくり

- ・児童会活動中心に「あいさつ」「キラピカ(いいところ)さがし」
- ・自分のよさを広げ、知らせることのできる場や機会の設定
- ・交流活動の充実
(子どもも教師も共に)

地域との連携

- ・地域(人・こと・もの)を題材にした生活科、総合的な学習の時間の充実
～子どもの思いを中心に～
- ・夢を語るキャリア教育の充実
- ・地域と子どもが連携したイベントの企画、運営
- ・学習支援、生活支援の充実

家庭へのおねがい

- 1 早寝 早起き 朝ご飯
- 2 笑顔であいさつ
- 3 できることから
お手伝い
- 4 家族のふれあい
読書の時間
- 5 地域の行事への参加
- 6 家庭学習の充実

